

# 第41回 長野県幼児教育研究大会

## 東 信 大 会

ご案内

— 大会主題 —

**人生のスタートにこそ良質な教育を**

～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつけよう～

<期日>

平成29年 10月21日(土)

<全体会会場>

上田市丸子文化会館セレスホール

<分科会会場>

上田市丸子文化会館セレスホール

上田市丸子ふれあいステーション

長野県幼児教育研究協議会・平成29年度東信地区実行委員会

# ご 挨拶

— 曲 成 —

長野県幼児教育研究協議会

会長 窪 田 英 一

長野県は、周囲を埼玉・群馬・新潟・富山・岐阜・愛知・静岡・山梨の八県に囲まれる内陸県であります。南北230キロにも及ぶ県域には、北アルプス、中央アルプス、南アルプスが走り、正に日本アルプスの名にふさわしい山岳美を見せてくれます。平地は県土の80%以上を占める山地の間の小盆地があるに過ぎず、古来より地域が細分化され、歴史的背景も影響して、地域間の纏まりが無いと言われます。しかし教育者や文化人を多く輩出し、自他共に認める教育県として、県外で必ず長野県民が皆で歌うのは県歌「信濃の国」です。そして、皆で故郷を想い誇りとするのです。

歌詞の2番には

流れ淀まずゆく水は

北に犀川千曲川

南に木曾川天竜川

これまた国の固めなり

固めなりとは元をなし、団結が強いということです。

世の中70年ごとに大混乱、大変革があるといわれ、世界中が、また日本は教育界だけを取ってみても昭和22年制定の学校教育法が70年を経て、子ども子育て支援制度の影響が長野県の幼児教育保育にも大きく関わってきています。

信濃を流れる四つの大河のように、急峻な山あいには激流とし、盆地はゆったりくねくねと流れ海を目指す。人の生き方も幼児教育保育もうまくいったり行かなかったり。志は高くして失わず、時代の変化に対応する。苦勞して悩むそのことが人に寄り添える教育者として成長し、幼児教育保育の質を高め、教育の多様性が認められる。

**曲成**とはそのような生き方です。一里塚と言われる今、幼児教育保育の固めとなる幼児教育研究大会でありたいと願っています。

「人生のスタートにこそ良質な教育を」のテーマのもと、混乱の時代の大会開催に当たり、東信地区実行委員会の各幼稚園・諸先生方がひとつとなり、実り多き大会にと真心を込めて準備を整えてくださいましたことに深甚なる謝意を表し、ご後援をいただきました長野県・長野県教育委員会・上田市・上田市教育委員会関係者の皆様方に心より御礼申し上げます。

さあ！仲間と魅力ある幼稚園・認定こども園となる学びをしましょう。

# 大会日程

大会主題

人生のスタートにこそ良質な教育を

～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～

平成29年10月21日（土）

全体会場 上田市丸子文化会館セレスホール

分科会場 上田市丸子文化会館セレスホール  
上田市丸子ふれあいステーション

9:15 受付 \*地区毎

9:50 開会式

10:20 基調講演 講師 川邊貴子先生

12:00 昼食 \*各分科会場

13:00 分科会

15:50 閉会式 \*各分科会場

16:00 閉会

# 基調講演

川邊 貴子先生

聖心女子大学 教授



## 演 題

「幼児の非認知能力を育てる保育のあり方」

## プロフィール

### 〔略歴〕

東京学芸大学大学院教育学研究科（幼児教育学）修了。東京の公立幼稚園で12年間保育者、東京都教育委員会で4年間の指導主事を経て、教員養成へ。主な研究課題は保育記録の在り方や遊び援助論。学生指導、教育研究、現職の先生方との研修研究が大切な3本柱で、どれが欠けても思考がうまく回らない。

### 〔社会的な活動〕

- ・文部科学省幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集作成協力者、第3期中央教育審議会初等中等教育分科会臨時委員、他。日本保育学会理事
- ・NPO 法人コミュニティリンクケア東京理事 他

### 〔主な著書〕

- 『河辺家のホスピス絵日記』東京書籍、共著、2000
- 『遊びを中心とした保育～保育記録から読み解く援助と展開』萌文書林、2005
- 『保育記録の機能と役割～保育構想につながる「保育マップ型記録」の提言』  
聖公会出版、2013
- 『幼児期における運動発達と運動遊びの指導』ミネルヴァ書房、共編著、2014
- 『目指せ 保育記録の達人』フレーベル館、共著、2016
- 『心をとめて森を歩く』フレーベル館、共著、2016 他

# 分科会概要一覧

上田市丸子文化会館セレスホール

上田市丸子ふれあいステーション（3F会議室）

13:00～15:50

分科会	テーマ	担当	助言者	地区運営責任者
第1	多様な子どもの受容と、クラスの育ちを考える ～課題をもった子どもの成長のための取り組み～	北信地区	小野 晃男 (前長野市特別支援教育巡回相談員)	松尾恵美子 (認定こども園信濃ひまわり幼稚園)
第2	保育の振り返りを通して、子どもたちの遊びの質を高めよう ～自分で考え、自信をもって遊べる子を目指して～	北信地区	宮澤 真一 (長野県県民文化部私学・高等教育課私学振興専門員)	込山二三男 (あかしや幼稚園)
第3	幼児の健康な体と心を育む ～子どもが自分の思いを表現できる保育～	東信地区	青柳 信雄 (上田市立丸子北小学校長)	荒井久美子 (くるみ幼稚園)
第4	子どもと共に育つ保育者 ～保育の質を高めるために～	中信地区	川久保あけみ (前県私学・高等教育課私学振興専門員、前私立幼稚園協会教育専門員、元長野県公立小学校長)	青木 知子 (白百合幼稚園)
第5	多様な子どもの受容と、クラスの育ちを考える ～友だちと認め合いながら、共に育つクラスづくり～	南信地区	山口 美和 (上越教育大学大学院・准教授)	中村 祐大 (ヤコブ幼稚園)
第6	リーダーとしての園長が、これからの幼児教育について大事にしなければならないこと ～いかに園として生き残っていくか～	研究委員会	安家 周一 (学校法人あけぼの学園、学校福祉法人あけぼの事業福祉会)	倉科 正豊 (聖ヨゼフ幼稚園) 水野 美恵 (上田女子短期大学附属幼稚園)

# 第1分科会

研修俯瞰図記号 A1-1 A4-1 担当 北信地区

## ➤ テーマ

### 多様な子どもの受容と、クラスの育ちを考える

～ 課題をもった子どもの成長のための取り組み ～

## ➤ 研究内容

1. 縦割り自由保育の中で、保育者が、子どもたちとどのように関わっていったか。
2. S児とまわりの子どもたちとの交わりで互いがどう変容していったか。

## ➤ 討議の柱

1. 保育者・クラスの子ども・S児がお互いに心を開き合い、認め合うことの重要性と具体的にどう関わるのが大切か。

## ➤ 問題提起の方法

### ◇ 発表者

池上 典代先生 認定こども園旭幼稚園

### ◇ 討議方法

- ① 研究したことを話題提供園より発表後、質疑応答
- ② グループに分かれて討議し、助言者よりご指導いただく

### ◇ タイムスケジュール

13:00	14:00	14:15	15:30	15:50	16:00
開 会 式	話題提供園の発表と質疑助言等	休 憩	グループ討議と発表	助言者 指 導	閉 会 式

## ➤ 分科会担当

助 言 者 小野 晃男 前長野市特別支援教育巡回相談員

話 題 提 供 者 池上 典代 認定こども園旭幼稚園

地 区 運 営 責 任 者 松尾恵美子 認定こども園信濃ひまわり幼稚園

研 究 委 員 中島千詠子 認定こども園若穂幼稚園

司 会 者 原山 総男 ルンビニ幼稚園

記 録 者 花形 綾子 認定こども園信濃ひまわり幼稚園

運 営 委 員 宮入 静 古牧あけぼの幼稚園

# 第2分科会

研修俯瞰図記号 E4-2 担当 北信地区

## ➤ テーマ

保育の振り返りを通して、子どもたちの遊びの質を高めよう

～ 自分で考え、自信をもって遊べる子を目指して ～

## ➤ 研究内容

振り返りシートを用い、子どもたちの思いや願いをくみ取り、それらを実現するため、保育者ほどのような支援をしていくかを明確にできるようにしている（計画、実践、振り返りの連続性）。

## ➤ 討議の柱

1. 子どもが主体的に遊びに打ち込める支援はどうあったら良いか

## ➤ 問題提起の方法

### ◇ 発表者

大島 千賀子先生 篠ノ井幼稚園

### ◇ 討議方法

パワーポイントを使用しての事例発表

### ◇ タイムスケジュール

13:00	14:20	14:30	15:20	15:50	16:00
開 会 式	話題提供、質疑応答、グループ討議	休 憩	グループ討議と発表	助言者 指 導	閉 会 式

## ➤ 分科会担当

助 言 者 宮澤 真一 長野県県民文化部私学・高等教育課私学振興専門員

話 題 提 供 者 大島千賀子 篠ノ井幼稚園

地区運営責任者 込山二三男 あかしや幼稚園

研 究 委 員 山本 正子 東長野幼稚園

司 会 者 青木 洋子 南長野幼稚園

記 録 者 市村 咲子 あかしや幼稚園 中山ひとみ 東長野幼稚園

運 営 委 員 込山二三男 あかしや幼稚園

# 第3分科会

研修俯瞰図記号 **A4-I A5-II** 担当 **東信地区**

## ➤ テーマ

### 幼児の健康な体と心を育む

～ 子どもが自分の思いを表現できる保育 ～

## ➤ 研究内容

### 1. 聖マリア幼稚園

多様な子どもたちがいる中で、反応が薄い子、思いを表すことが苦手な子の姿が気になる。いろいろな方面から、状況を把握し反応したり自分らしさを表現できる支援を行っている。今年度は、絵画の方面での支援の仕方を深めていきたい。

### 2. 浅科幼稚園

日々の保育の中で取り入れている散歩を通して、命の大切さを学んでいく過程を捉える。そのための保育者の役割や支援について考えていく。

## ➤ 討議の柱

1. 各園での状況や自分らしさを表現できる支援の仕方、環境づくりなどについて
2. 子どもの生き物や物に対する気持ちの変化を得るためには、保育者のどのような声かけや環境づくりが必要かなど

## ➤ 問題提起の方法

- ◇ 発表者 清住祐梨子先生 聖マリア幼稚園  
岩波多奈恵先生・大工原萌子先生 光徳学園浅科幼稚園
- ◇ 討議方法 ① 研究したことを話題提供園より発表後、質疑応答、助言者による方向づけ  
② 小グループに分かれ討議し、助言者よりご指導・助言をいただく
- ◇ タイムスケジュール

13:00	14:00	14:10	14:20	15:30	15:50	16:00
開 会 式	話題提供園の発表・質疑応答など	助言者 指導	休 憩	グループ討議と発表	助言者 指 導	閉 会 式

## ➤ 分科会担当

助 言 者	青柳 信雄	上田市立丸子北小学校長
話 題 提 供 者	清住祐梨子	聖マリア幼稚園
	岩波多奈恵	・ 大工原萌子 光徳学園浅科幼稚園
地区運営責任者	荒井久美子	くるみ幼稚園
研 究 委 員	荒井久美子	くるみ幼稚園 矢島 理世 聖マリア幼稚園
司 会 者	田口恵美子	認定こども園小諸幼稚園
記 録 者	岡田はる菜	上田女子短期大学付属幼稚園
運 営 委 員	林 さと美	カトリック幼稚園



# 第4分科会

研修俯瞰図記号 B1-I B2-II 担当 中信地区

## ➤ テーマ

### 子どもと共に育つ保育者

～ 保育の質を高めるために ～

## ➤ 研究内容

### 1. よしだ幼稚園

日々の保育の中で、保育者がつまずいたり悩んだりしたことを出し合い、全職員で共有してきた。その中で、課題の1つである「保育者としての経験年数の差をどのように補い合っていくか」について考えていく。

### 2. 大町幼稚園

毎年行っている泥だんご作りを通し、教材研究、導入方法、異年齢交流、人のかかわりなど、保育者も子どもも様々なことを学んできた。今回の研究では、すぐ飽きる子、感覚過敏な子、泥だんごをめぐるトラブルなどへの対応の仕方を考えていく。

## ➤ 討議の柱

1. 同僚性を高めるためにどのような取り組みをしていくか
2. 子どもが夢中になれる保育者のかかわりと環境設定とは

## ➤ 問題提起の方法

◇ 発表者 羽石 幸恵先生 よしだ幼稚園 奥原 佳奈先生 認定こども園大町幼稚園

◇ 討議方法 ①研究したことを話題提供園より発表後、質疑応答

②小グループに分かれて討議を行った後、グループごとのまとめを発表

③助言者よりご指導いただく

◇ タイムスケジュール

13:00	13:50	14:00	15:20	15:50	16:00
開 会 式	話題提供と質疑応答	休 憩	グループ討議と発表	助言者 指 導	閉 会 式

## ➤ 分科会担当

助 言 者 川久保 あけみ (前県私学・高等教育課私学振興専門員

前私立幼稚園協会教育専門員・元長野県公立小学校長)

話 題 提 供 者	羽石 幸恵	よしだ幼稚園	奥原 佳奈	認定こども園大町幼稚園
地区運営責任者	青木 知子	白百合幼稚園		
研 究 委 員	青木 知子	白百合幼稚園	中村 暢子	聖十字幼稚園
司 会 者	牧田 和美	松本青い鳥幼稚園	田中麻利子	鈴蘭幼稚園
記 録 者	内澤 由貴	よしだ幼稚園	福島佳那子	認定こども園大町幼稚園
運 営 委 員	高山 知佳	松本短大幼稚園		

# 第5分科会

研修俯瞰図記号 **A1-I A4-I** 担当 **南信地区**

➤ テーマ

## 多様な子どもの受容と、クラスの育ちを考える

～ 友だちと認め合いながら、共に育つクラスづくり ～

➤ 研究内容

子どもは、生まれや育ちの環境の違いから、一人ひとりがそれぞれの特徴や個性を持ち、違った生き方をしています。縦割り保育の中でお互いを認め合いながら、クラスの中で育ち、またクラス全体も育っていく過程をとらえる。

そのための保育者の視点や役割・支援について考える。

➤ 討議の柱

1. 子どもの個性をどうとらえ、保育者の声がけや援助により、どう変化していくのかを一緒に考えていく。

➤ 問題提起の方法

◇ 発表者 濱 志織先生 諏訪聖母幼稚園

- ◇ 討議方法
- ① 実践内容を提案園より発表後、質疑応答、助言者による方向づけ
  - ② 小グループに分かれ討議し、助言者より指導・助言をいただく

◇ タイムスケジュール

13:00	13:50	14:00	14:20	15:20	15:50	16:00
開 会 式	話題提供園の発表 質疑応答	助言者 指導	休 憩	グループ討議 発表	助言者 指 導	閉 会 式

➤ 分科会担当

助 言 者 山口 美和 上越教育大学大学院 准教授

話 題 提 供 者 濱 志織 諏訪聖母幼稚園

地区運営責任者 中村 祐大 ヤコブ幼稚園

研 究 委 員 中村 祐大 ヤコブ幼稚園

司 会 者 中村 祐大 ヤコブ幼稚園

記 録 者 河西 貴恵 ヤコブ幼稚園 小池まなみ ヤコブ幼稚園

運 営 委 員 宮原 健 認定こども園伊那緑ヶ丘幼稚園

# 第6分科会

研修俯瞰図記号 B5-3 E1-3 担当 研究委員会

## ▶ テーマ

リーダーとしての園長が、これからの幼児教育について

大事にしなければならないこと ～いかに園として生き残っていくか？～

## ▶ 内容

幼稚園教育要領、ならびに認定こども園教育・保育要領が、2017年の告示を経て、2018年度からの施行が予定されています。そんな中、園のリーダーとしての園長が、これからの幼児教育について大事にしなければならないこと、そして、少子化の中、選ばれる園としていかに生き残っていくか、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 副理事長、安家周一先生に講演いただきます。

## ▶ 講師プロフィール



兵庫教育大学大学院 学校教育研究科 修士課程 人間発達教育専攻  
幼年教育コース 教育学修士  
学校法人 あけぼの学園 理事長 あけぼの幼稚園 園長  
社会福祉法人 あけぼの事業福祉会 理事長  
大阪教育大学 非常勤講師 幼児教育課程論 2011.4～現職  
全日本私立幼稚園連合会 常任理事  
(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 副理事長

### ■著書

見つける伸ばす子どもの持ち味 PHP出版  
研修ハンドブック 全国私立幼稚園幼児教育研究機構編 世界文化社 他

## ◇ タイムスケジュール

13:00	14:15	14:30	15:50	16:00
開 会 式	講 演	休 憩	講演及び、DVD鑑賞による考察	閉 会 式

## ▶ 分科会担当

助 言 者 安家 周一 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 副理事長  
学校法人あけぼの学園 理事長 あけぼの幼稚園 園長

運 営 責 任 者 倉科 正豊 聖ヨゼフ幼稚園  
水野 美恵 上田女子短期大学附属幼稚園

司 会 者 和田 典善 認定こども園若穂幼稚園

記 録 者 柳澤 由美 梅花幼稚園

運 営 委 員 和田 典善 認定こども園若穂幼稚園

---

# 県大会 参加のご案内

---

## ○ 申込手順

- 1 **すべての園が「第41回長野県幼児教育研究大会県大会 参加申込書」を提出します。**  
なお、自園で参加者が「いない」場合は、参加申込書の園として「出席者なし」に、○印をつけて提出してください。
- 2 参加申込書についての内容を記入します。
- 3 参加申込書（記入済み）をファックス（メール、郵送 可）で申し込みます。

〒380-8570

長野市大字南長野字幅下692-2 県庁東庁舎2F

一般社団法人 長野県私立幼稚園・認定こども園協会

長野県幼児教育研究協議会事務局宛て

TEL 026-235-3353 **FAX 026-235-3410**

E-mail: [k-senmonin@naganoken-youchien.com](mailto:k-senmonin@naganoken-youchien.com)

- 4 参加申込書は、控えとしてコピーしておいてください。
- 5 参加申込書が事務局に届き次第、「受付確認書」をファックス送信します。
- 6 ご不明なことなどは、直接事務局までお問い合わせください。
- 7 参加申込書は7月7日（金）までにお申し込みください。（厳守）
- 8 参加費は7月7日（金）までに、園単位で一括して同封の郵便振替用紙でお振込みください。

**\* 参加申込書の申込期限**

**\* 参加費の振込み期限**

**いずれも 7月7日（金）まで**

## 9 その他

- (1) 申し込み後に訂正等がある場合は、事務局へご連絡ください。
- (2) 大会に欠席された場合は、参加費のお返しはできません。代理の方のご参加をお願いします。
- (3) 提出期限が遅れる場合には、事務局へご連絡ください。

---

## 注 意 事 項

---

- 大会役員の方も申し込み手続きをお願いいたします。
- 参加費は、一人1,500円です。
- 昼食は各自で用意されますようお願いいたします。
- 大会に欠席された場合は、参加費のお返しはできません。できるだけ代理の方のご参加をお願いします。
- 申し込み後に変更がある場合は、事務局までご連絡ください。
- 全体会会場までの交通手段につきまして、園バス利用・自家用車利用の場合の台数を参加申込書にご記入をお願いいたします。

---

## 分科会について

---

- ◇ 分科会参加は、なるべく園内で分散するようにご配慮ください。
- ◇ 必ず、第2希望までご記入ください。
- ◇ 特定の分科会に人数が集中した場合、及び分科会の会場によっては、事務局で人数調整をさせていただきますのでご了承ください。

---

## 全体会会場及び分科会会場

---

- 全体会会場、分科会会場  
上田市丸子文化会館セレスホール  
〒386-0404 長野県上田市上丸子1488番地  
電話 0268-42-0001
- 上田市丸子ふれあいステーション  
〒386-0404 長野県上田市上丸子1600-1番地  
電話 0268-42-0033

## 第41回長野県幼児教育研究大会 県大会 参加申込書

園として ( 出席者あり 出席者なし ) ← ○印をつけ、すべての園が提出してください

園名 \_\_\_\_\_ 園 \_\_\_\_\_ 申込責任者氏名 \_\_\_\_\_

用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。

番号	氏名 (楷書で)	職名	希望分科会名		一般参加者	大会関係者	参加費
			第1希望	第2希望			
例	永野 洋一	主任	1	5	×	提案者	1500
1							1500
2							1500
3							1500
4							1500
5							1500
6							1500
7							1500
8							1500

A 参加費 1名につき 1,500円 × 参加者全員 \_\_\_\_\_ 名分= \_\_\_\_\_ 円

※ 同封の郵便振替用紙をご利用してください。(締切日7月7日厳守)

B 当日の交通手段

- (1) 園バス利用 ( ) 台・貸切バス ( ) 台      (2) 一般参加者で自家用車利用 ( ) 台  
 (3) 役員・実行委員・運営委員・研究研修委員・司会・提案・記録で自家用車利用 ( ) 台

(記入上の留意事項)

- 1 氏名・職名は、楷書ではっきり書き、希望分科会名は分科会番号をお書きください。
- 2 一般参加者は○印を、大会関係者は、運営委員・研究研修委員・司会・提案・記録・実行委員とお書き下さい。
- 3 参加費1,500円は、一般参加者・大会関係者全員が納入して下さい。
- 4 参加申込書と参加費の郵便振替は、7月7日(金)までをお願いします。(厳守)
- 5 ご不明なことは事務局(026-235-3353)までお問い合わせください。
- 6 参加申込書送信先 **(FAX) 026-235-3410**

# ※※※ お 願 い ※※※

東信地区実行委員会

## 1. 上田市丸子文化会館セレスホールまでの交通手段について

☆しなの鉄道利用の場合

上田駅 下車 タクシー40分

大屋駅 下車 タクシー15分

☆自家用車等の場合

東部湯の丸 IC 11km 16分 松本 IC 43km 60分

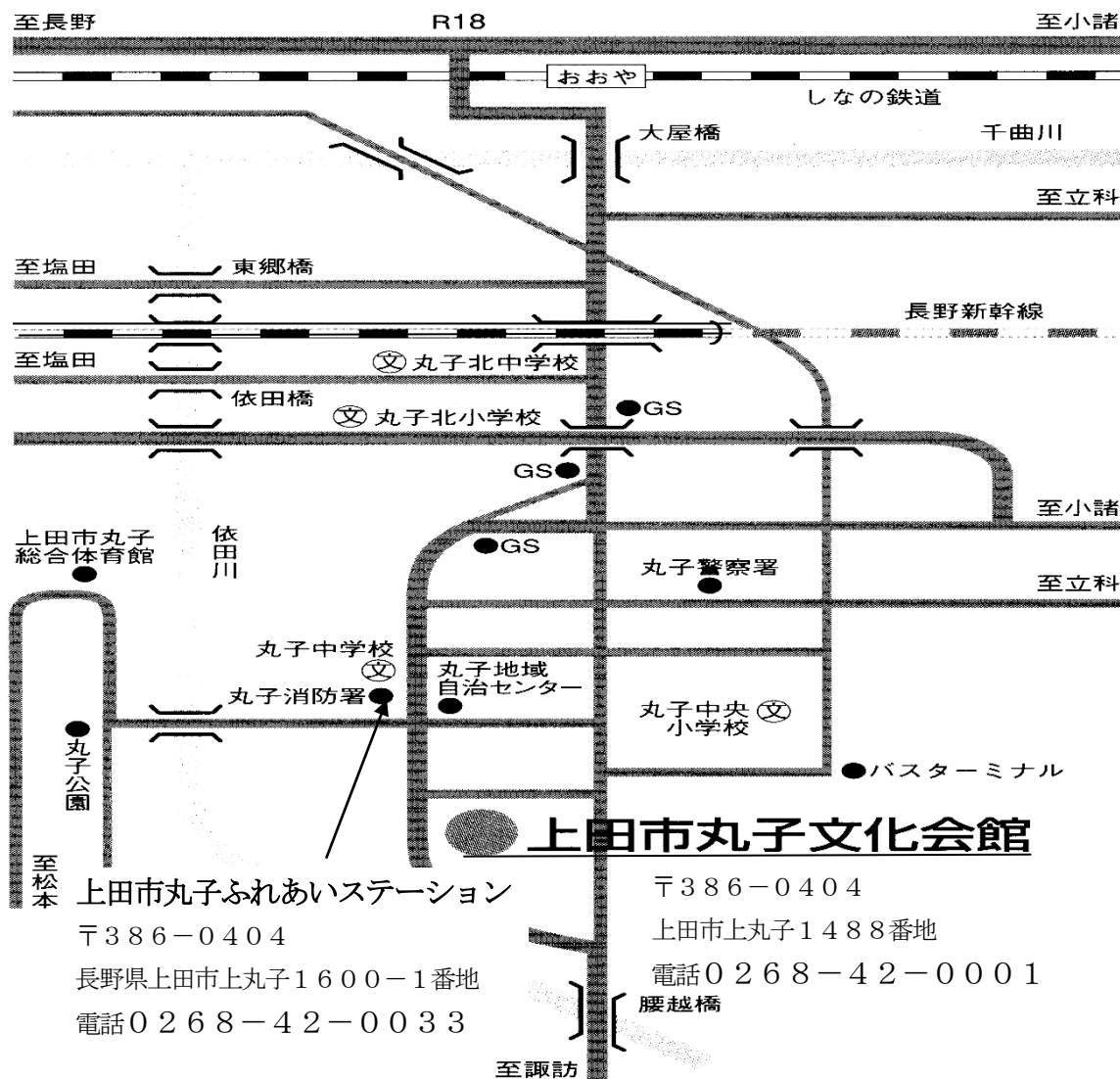
※駐車場は指定場所および案内に従ってください。

## 2. 昼食について

○昼食は各分科会場で、お取りください。(指定以外の場所では飲食禁止されています)

○ゴミは、各自でお持ち帰りくださるようお願い致します。

## 3. 会場までの案内図



## 第 41 回 長野県幼児教育研究大会 東信大会

主催 長野県幼児教育研究協議会

後援 長野県・長野県教育委員会・上田市・上田市教育委員会（予定）

実施 東信地区・東信地区実行委員会

[事務局] 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁東庁舎2階

一般社団法人 長野県私立幼稚園・認定こども園 協会

長野県幼児教育研究協議会

TEL 026-235-3353 FAX 026-235-3410

[E-mail] [k-office@naganoken-youchien.com](mailto:k-office@naganoken-youchien.com)

(大会案内冊子は、協会ホームページにも掲載されています)